

KORG

TM-70F

COMBO TUNER METRONOME

取扱説明書

J1

このたびは、コルグ・コンボ・チューナー・メトロノームTM-70Fをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本製品を末永くご愛用いただくためにも、取扱説明書をよくお読みになって正しい方法でご使用ください。

目次

各部の名称.....	2
セットアップ	2
電池の入れ方	2
接続する.....	3
スタンドの使い方.....	3
電源のオン、オフ	3
チューナーを使う	4
メーターを見ながらチューニングする.....	4
基準音を聴きながらチューニングする(サウンド・アウト)	5
ピッチを確認しながらチューニングする(サウンド・バック)	5
精度の高いチューニングをする(フォーカス)	6
ピッチを確認する(トレース)	6
メトロノームを使う.....	7
テンポ、拍子を設定する.....	7
タップ・テンポでテンポを設定する.....	8
チューナーとメトロノームを同時に使う.....	8
バックライト	9
仕様	9

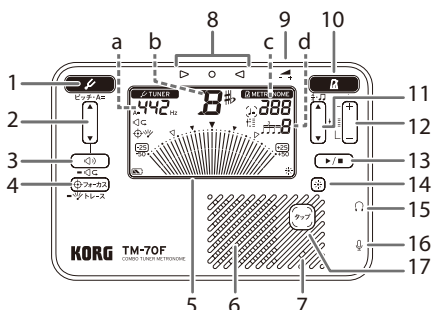
株式会社コルグ

本社：〒206-0812 東京都稲城市矢野口 4015-2

© 2024 KORG INC. www.korg.com

Published 01/2024

各部の名称



1. (チューナー) ボタン
 2. (ピッチ/キャリブレーション) ボタン
 3. (サウンド・アウト/サウンド・バック) ボタン
 4. (フォーカス/トレース) ボタン
 5. ディスプレイ (液晶表示)
 6. スピーカー
 7. 内蔵マイク
 8. チューニング・ガイド
 9. (ボリューム)
 10. (メトロノーム) ボタン
 11. (ビート) ボタン
 12. (テンポ) ボタン
 13. (スタート/ストップ) ボタン
 14. (バックライト) ボタン
 15. (ヘッドホン) 端子 (3.5mm、ステレオ・ジャック)
 16. (インプット) 端子 (3.5mm、モノラル・ジャック)
 17. (タップ・テンポ) ボタン
- a. 基準ピッチ
b. 音名
c. テンポ
d. 拍子

セットアップ

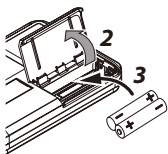
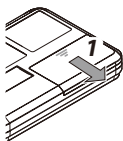
電池の入れ方

電池は付属していません。別途お買い求めください。

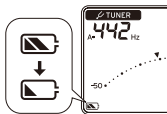
1. 本機の裏側にある電池の蓋をスライドします。
2. 蓋を開けます。
3. 極性に注意して電池を入れ、蓋を閉めます。

同じ種類の電池を使用してください。

誤動作が発生して、電源のオン、オフを何度か行っても直らない場合は、電池をいったんはずして、再度入れ直してください。

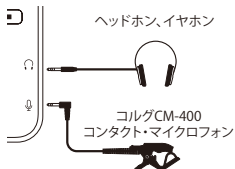


▲ 電池の残量が少なくなると、ディスプレイに電池マークが表示されます。🔋が表示されたら、電源をオフにし、早めに新しい電池と交換してください。



接続する

🎧 端子には、市販のヘッドホン、イヤホン(3.5mm、ステレオ・プラグ)を接続します。接続するとスピーカーからは音が出ません。イヤホンまたはスピーカーからの音量は、🔊で調整します。

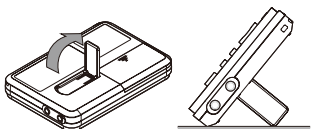


🎤 端子には、別売のコルグCM-400コンタクト・マイクを接続します。

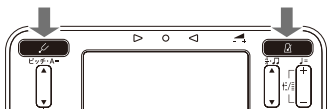
▲ 🎤 端子に何も接続されていないときは、内蔵マイクによるチューニングになります。

スタンドの使い方

本機の裏側にあるスタンドを使って、本体を立てることができます。



電源のオン、オフ

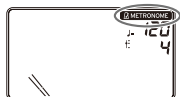


1. 🔌 ボタンまたは 🎵 ボタンを押すと、電源がオンになります。使用する機能のボタンを押してください。

• 🔌 ボタンを押すと、チューナーがオンになります。ディスプレイに 🔌 TUNER が表示されます。



• 🎵 ボタンを押すと、メトロノームがオンになります。ディスプレイに 🎵 METRONOME が表示されます。



▲ 🔌 ボタン、🎵 ボタンは、ポケットやバッグなどに収納したとき、意図せずに電源が入らないように、他のボタンより背を低く設計してあります。オンまたはオフにする場合は、ボタンを少し押し込むように操作してください。

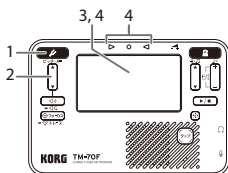
2. チューナーのオン時に 🔌 ボタンを押し、メトロノームのオン時に 🎵 ボタンを押すと、それぞれがオフになります。

これらは、停止した状態が20分間続いても、自動的にオフになります。

チューナーを使う

メーターを見ながらチューニングする

ディスプレイのメーターを見ながら楽器をチューニングしましょう。



1. ボタンを押して、チューナーをオンにします。

ディスプレイに TUNER と基準ピッチが表示されます。



2. 基準ピッチを変更するときは、**ピッチ・A** ボタンの ▲、▼ を押します。

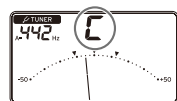
ボタンを押すと、基準ピッチが1Hz単位で上下します。

ボタンを長押しすると、基準ピッチが連続的に上下します。この設定は、電源をオフにしても記憶されます。

3. 楽器を単音で鳴らします。

ディスプレイの中央に、入力した音に最も近い音名が表示されます。

合わせたい音名が表示されるように、楽器を大まかにチューニングします。



▲ 内蔵マイク使用時は、内蔵マイクに楽器をできるだけ近づけ、チューニング中に余計な音が入らないようにしてください。

4. 楽器を単音で鳴らしながら、メーターが中央の ▼ を指し、チューニング・ガイドの中央のLEDが点灯するようにチューニングします。

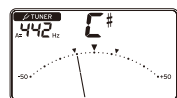


チューニング・ガイドは、楽器の音が低いときは左のLEDが、音が高いときは右のLEDが点灯します。



純正の長3度上にチューニングするとき

A (0セント) の音に対し、純正の長3度上の音 (C#) にチューニングするときは、メーターを左側の ▼ に合わせます。



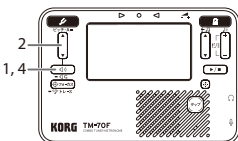
純正の短3度上にチューニングするとき



A (0セント) の音に対し、純正の短3度上の音 (C) にチューニングするときは、メーターを右側の ▼ に合わせます。



基準音を聴きながらチューニングする(サウンド・アウト)

サウンド・アウトでは、出力される音を聴きながらチューニングします。



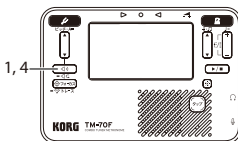
1. チューナーのオン時に  ボタンを押します。
ヘッドホンまたはスピーカーから基準音を出力します。
2. **ピッチ・A** ボタンの ▲、▼ を押して、合わせたい音名を選びます。
ボタンを押すたびに、出力される基準音が以下のように変わります。
B♭ (B♭4) ⇄ B ⇄ C (C5) ⇄ C♯ ⇄ D ⇄ E♭ ⇄ E ⇄ F ⇄ F♯ ⇄ G ⇄ G♯ ⇄ A ⇄ B♭ ⇄ B ⇄ C (C6) ⇄ C (C3) ...
この設定は電源をオフにしても記憶されます。
3. 基準音に合わせて、楽器をチューニングします。
コンタクト・マイクを使用したりヘッドホンを接続したりすると、メーターを見ながらチューニングすることもできます。
4. 基準音を止めるときは、  ボタンを押します。




ピッチを確認しながらチューニングする(サウンド・バック)

サウンド・バックは、入力した楽器の音を感知して、最も近い基準音を出力します。

自分が鳴らした音と基準音とのピッチのずれを確認するときなどに便利です。

🔌端子、🔌端子のどちらか(または両方)が接続されている場合に使用できます。

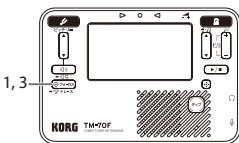



1. チューナーのオン時に  ボタンを長押しします。
ディスプレイに  が表示されます。
2. 🔌端子に接続したコンタクト・マイク、または内蔵マイクから楽器音を入力します。
ヘッドホンまたはスピーカーから基準音を出力します。
内蔵マイクを使用するときは、🔌端子のみを接続し、🔌端子には接続しません。
3. 基準音とメーターを使って、楽器をチューニングします。
4. サウンド・バックをやめるときは、  ボタンを押します。




精度の高いチューニングをする(フォーカス)

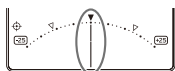
フォーカスでは、ピッチ表示の範囲を±25セント(チューナーのオン時は±50セント)にします。これによって長短三度のチューニングなど、精度の高いチューニングができます。



1. チューナーのオン時に、**フォーカス** ボタンを押します。
ディスプレイに  が表示されます。



2. 楽器を単音で鳴らしながら、メーターが中央の  を指すようにチューニングします。

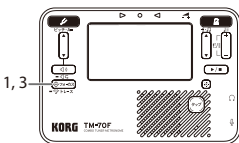



3. ピッチ表示の範囲を±50セントに戻すときは、**フォーカス** ボタンを押します。

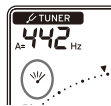
ピッチを確認する(トレース)

トレースでは、過去2秒間に検出したピッチ範囲をメーターの下段に表示します。

ロングトーンの安定感を確認するときに活用すると便利です。



1. チューナーのオン時に、**フォーカス** ボタンを長押しします。
ディスプレイに  が表示されます。



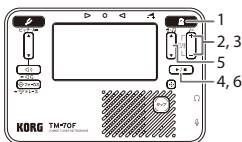
2. 楽器でロングトーンを鳴らします。
メーターの下段にピッチ範囲が表示されます。



3. ピッチ範囲の表示をやめるときは、**フォーカス** ボタンを長押しします。

メトロノームを使う

テンポ、拍子を設定する

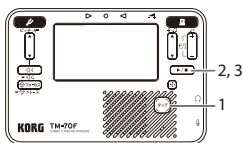


- 1.** **[M]** ボタンを押し、メトロノームをオンにします。
ディスプレイに **[M] METRONOME** が表示されます。
- 2.** ペンデュラム（機械式メトロノームの振り子）・ステップまたはフル・ステップを選ぶときは、**[J]** ボタンの + と - を2つ同時に約1秒間押し続けます。
初期設定はペンデュラム・ステップです。
 - ペンデュラム・ステップでは、ディスプレイに **[J]** が表示されます。
 - フル・ステップでは、ディスプレイに **[J]** が表示されます。

この設定は、電源をオフにしても記憶されます。
- 3.** テンポを設定するときは、**[J]** ボタンの + と - を押しします。
ディスプレイのテンポ表示に、数値が表示されます。
 - ペンデュラム・ステップでは、**[J]** ボタンを押すと、テンポの値は以下のように増減します。これは機械式メトロノームと同じです。
30 ⇄ 32 ⇄ 34 ... 88 ⇄ 92 ⇄ 96 ... 232 ⇄ 240 ⇄ 252 ⇄ 30 ...
ボタンを長押しすると連続的に値が増減します。
 - フル・ステップでは、**[J]** ボタンを押すと、テンポの値は30～252まで1ずつ増減します。
ボタンを長押しすると連続的に値が増減します。
テンポは、**[T]** ボタンで設定することもできます。詳しくは、「タップ・テンポでテンポを設定する」(p.8)を参照してください。
- 4.** **[▶/■]** ボタンを押し、メトロノームをスタートさせます。
テンポに合わせてメトロノームの振り子が左右に動き、その動きに合わせて **[T]** ボタンが点滅します。
- 5.** 拍子を変更するときは、**[4・♪]** ボタンの ▲、▼ を押しします。
拍子は以下のように変わります。
0 ⇄ 1 ... 9 (9拍子) ⇄ **[4・♪]** (4連中抜き) ⇄ **[4・♪]** (4連符) ⇄ **[3・♪]** (3連中抜き) ⇄ **[3・♪]** (3連符) ⇄ **[2・♪]** (2連符) ⇄ 0 ...
- 6.** メトロノームを止めるときは、**[▶/■]** ボタンを押しします。

タップ・テンポでテンポを設定する

テンポは、タップ・テンポでも設定できます。



1. メトロノームのオン時に、 ボタンを一定の間隔で数回押します。

ボタンを押した間隔をBPMで検知し、テンポとして設定します。ディスプレイのテンポ表示にはその数値が表示されます。

テンポを検知している間は、テンポ表示の左にある、 の囲い線4本が表示されます。

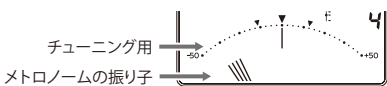


- 検知したBPMが30未満のときは、テンポ表示に“Lo”と表示され、テンポは“30”に設定されます。
 - 検知したBPMが252を超えるときは、テンポ表示に“Hi”と表示され、テンポは“252”に設定されます。
2. ボタンを押し、メトロノームをスタートさせます。テンポに合わせてメトロノームの振り子が左右に動き、その動きに合わせて、 ボタンが点滅します。タップ・テンポ入力は、メトロノーム動作中も可能です。
 3. メトロノームを止めるときは、 ボタンを押します。

チューナーとメトロノームを同時に使う

本機では、チューナーとメトロノームを同時に使用できます。

ボタンと ボタンをそれぞれ押してチューナーとメトロノームをオンにすると、ディスプレイのメーターが以下のように上段、下段に分かれて表示されます。



チューナー、メトロノームの操作方法は、「チューナーを使う」(p.4)、「メトロノームを使う」(p.7)をそれぞれ参照してください。

- ▲ チューナーとメトロノームを同時に使用する場合は、メトロノームの拍子に (4連中抜き)、 (4連符)、 (3連中抜き)、 (3連符) を設定できません。
- ▲ トレースでは、メーターの下段は検出したピッチ範囲の表示となり、メトロノームの振り子は表示されません。

バックライト

☼ ボタンを押すたびに、バックライトの設定が以下のように変わります。

ソフト → オート → オフ → ソフト ...

バックライトの点灯時は、ディスプレイに☼が表示されます。



- **ソフト**では、電池の消耗を抑えるため、バックライトは常に低輝度の点灯になります。
- **オート**では、音を入力した場合とボタン操作時に、バックライトは明るく点灯します。約10秒間、音の入力やボタン操作が無いときは、自動的に低輝度の点灯になります。

仕様

チューナー部

音律: 12平均律

測定範囲*: C1 (30.47 Hz, A4=410 Hz) ~ C8 (4566.56 Hz, A4=480 Hz) サイン波時

基準発振音: C3 (121.89 Hz, A4=410 Hz) ~ C6 (1141.64 Hz, A4=480 Hz) 3オクターブ

チューニング機能:

メーター、サウンド・アウト、サウンド・バック、フォーカス、トレース

基準ピッチ範囲:

A4=410~480 Hz (1Hz単位)

測定精度: ±1セント以内

サウンド精度: ±1セント以内

* 測定範囲内の音であっても、倍音を多く含む音色や、減衰の速い楽器音は、測定できない場合があります。

メトロノーム部

テンポ範囲: ♩=30 ~ 252回/分

テンポ設定方法:

ペンデュラム・ステップ、フル・ステップ、タップ・テンポ

拍子範囲: 0~9拍子、2連符、3連符、3連符中抜き、4連符、4連符中抜き

テンポ精度: ±0.3 %

主要規格

接続端子: インプット端子 (3.5mmモノラル・ミニ・フォン・ジャック、不平衡)、ヘッドホン端子 (3.5mmステレオ・ミニ・フォン・ジャック)

スピーカー: ダイナミック・スピーカー (23mm)

電源: 単4形乾電池 (マンガンまたはアルカリ乾電池) 2本 (3V)

電池寿命： チューナーのみを使用した場合
約250/150/85時間(バックライト：オフ/ソフト/
オート、A4連続入力、アルカリ乾電池使用時)
メトロノームのみを使用した場合
約200/130/75時間(バックライト：オフ/ソフト/
オート、テンポ120、4拍子、音量最大、アルカリ
乾電池使用時)

外形寸法(W x D x H)：

107 x 72 x 18 mm

質量： 79 g(電池含まず)

付属品： クイック・スタート・ガイド

アクセサリ(別売)：

CM-400コンタクト・マイク

以下の設定は、電源をオフにしても記憶されます。ただし、電池を交換した場合は初期値に戻ります。

設定	初期値
基準ピッチ	442Hz
基準発振音	B♭4
フォーカス	オフ
トレース	オフ
ステップ	ペンデュラム・ステップ
テンポ	120
拍子	4拍子
バックライト	オフ

- ・仕様および外観は、改良のため予告無く変更する場合があります。